

新潟市の 家庭学習

「家庭でまったく学習しない」という児童生徒を少なくしていくには…



家庭学習

宿題

自主的な学習

<家庭学習の内容>

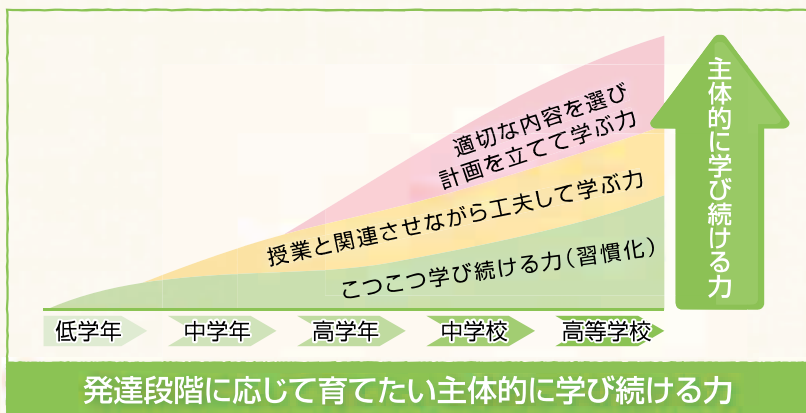
- 授業の予習(教科書を読む,事前の調べ学習など)
- 授業の復習(適用問題,授業の振り返りなど)
- 既習事項の定着を図る学習(ドリル学習など)
- 興味・関心を高める学習,発展的な学習
- 読書

家庭学習時間の目安

小学校	「10分×学年」以上
中学校	1年生 80分以上 2年生 100分以上 3年生 120分以上
高等学校	「(学年+1)時間」以上

主体的に学び続ける力を育てる家庭学習

発達段階に応じて重点的に育てたい「主体的に学び続ける力」(こつこつ学び続ける力,授業と関連させながら工夫して学ぶ力,適切な内容を選び計画を立てて学ぶ力)を明らかにし,学校体制で取り組むことで,効果が上がります。



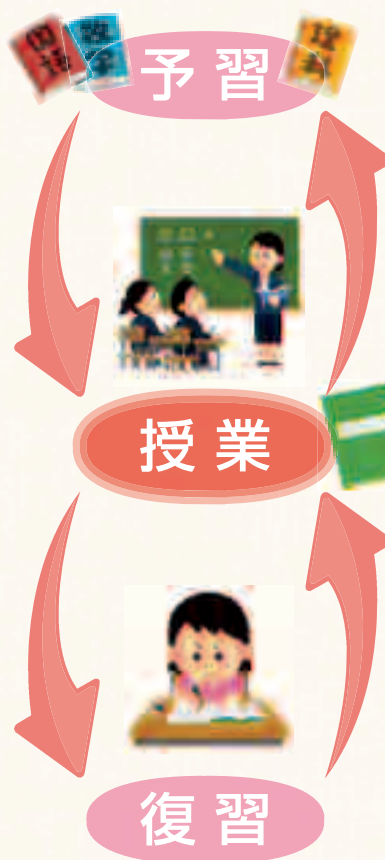
全校体制で取り組むと…

- 学年が変わっても,教師が変わっても,児童生徒が戸惑うことなく学び続けることができます。
- 単年度では成し得ない,主体的に学び続ける力を段階的に育むことができます。
- 上学年の取組を目標として意識することが,児童生徒の意欲向上につながります。

各学校で、「何に重点をおいて継続させていくのか」を明確にして取り組むことが大切です。

授業とつながる家庭学習

家庭学習で「予習」や「復習」に取り組むことで,学びが連続し,学習内容が確実に定着します。



予習すると…

- 分かっていることと分からないことを自覚して授業に臨めます。
- 考えをもって話し合いに参加するため,学びが深まります。
- 事前に資料や教科書を読んでいるため,ゆとりをもって学ぶことができます。

授業ノートが,授業と家庭学習をつなぐ重要なアイテム!

復習すると…

- 授業で学んだ知識・技能を確実に身に付けることができます。
- 思考の過程を振り返ることで,学び方を身に付けることができます。
- 学んだことよさが実感でき,次の学習への期待が高まります。

学ぶ意欲を高める

点検・評価



「やってよかった」「力が付いた」と自覚できる家庭学習を繰り返すことが学ぶ意欲を育て,主体的に学び続ける力の育成につながります。そのためには,教師の確実な見取りと適切な評価が重要です。

点検・評価のねらいは…

- 教師の点検やコメントにより家庭学習への意欲の向上を図り,よりよい学び方を身に付けさせる。
- 児童生徒の理解度を把握し,授業改革に生かす。